

経営後継者研修

第28期

経営後継者養成プログラム

自社の歴史を真摯に受け止め、将来の理想像をデザインし、その実現に向けて主体的に行動できる経営後継者を目指す！

経営環境が大きく変動する中で企業が永続的に成長・発展し続けていくためには、「変革」と「創造」への果敢なチャレンジが必須条件となってきます。

特に、企業の次代を担う経営後継者には、自社が積み上げてきた独自性の高い強みを活かした将来のビジョンをデザインし、自らがリーダーシップを発揮して目標を実現させていくための能力が求められます。

本研修では、経営後継者の方が、自社の歴史と伝統を真摯に受け継ぎながらも、時代の変化に柔軟に対応した新しい方向性を描き、その実現に向けて主体的に行動していくための能力を習得していただくカリキュラムをご用意しております。

27年の歴史と実績を有し、各方面で経営者・経営幹部として活躍する約600名の卒業生を輩出してきた「経営後継者研修」を是非ご活用いただくことをお薦めします。

● 後継経営者としての視点と発想

自社がこれまでに築き上げてきた、大切な自社の理念や信頼関係、強みなどの資産を有効に活かしながら、企業の新しい未来を創り上げていくための考え方や視点をしっかりと学んでいただきます。

● 強い組織を作るビジネスのプロとしてのスキル

ものごとを論理的に捉え、的確に解決策を導き出す能力や、部下の意欲や個性を引き出し、チームとしての成果へとまとめ上げていくための実践的な手法を学びます。

● 専門的な知識・技法と経営のバランス感覚

経営者として必要となる、専門的な経営管理の具体的な知識・技法について、「わかる（知識・手法の理解）」→「できる（学んだことの実践チェック）」→「やってみる（自己や自社にあてはめる）」のプロセスを踏み、段階的かつ着実に習得していきます。

● ゼミナール形式の個別指導によるきめ細かなサポート

自社の経営課題や今後の経営戦略の検討・策定を、ゼミ形式によるきめ細かな個別指導でパックアップします。

Voice 受講者の声

派遣企業の声

私は、学生時代には特に経営学に触れることなく、他社経験を2年半、自社経験を1年経たところで、当社創業者である父の強い勧めにより経営後継者研修を受講することになりました。

経営後継者研修の一一番良いところは、自社について父と深く話しあう機会を与えてくれた点です。

研修では、経営理念、財務、マーケティング、人的資源管理等、単元ごとにその都度、学習のフィードバックを兼ねて自社分析を行います。そこで、私と父が自社について十分に議論できることは、何よりも意義があったと思います。

私は、経営資源が限られている中小企業にとって、創業者（経営者）の思いを後継者がいかに実現させていくかが重要な点だと思います。

私の場合は、研修中の父との議論により、その思いを強く自覚するようになります。研修前と後では、企業経営に関する私の考え方が大きく変化したと思います。私の経験が、経営後継者研修の申込みを検討されている方々の参考になれば、と思います。

株式会社 ビレッジ開発
営業部 下村 太一郎



株式会社ビレッジ開発
取締役会長 下村 幸夫



〒446-0058 愛知県安城市三河安城南町一丁目11番地5
TEL:0566-77-5141 FAX:0566-77-4059
http://www16.ocn.ne.jp/~villagek/
●事業概要 不動産賃貸・管理、不動産売買・交換・賃替、不動産コンサルティング

カリキュラムの概要

経営スキル	部門	ねらいと内容
ヒューマンスキル テクニカルスキル	経営者マインド開発	経営者としての企業経営の意義・使命を明確に持つことの重要性を認識し、様々な企業家との触れ合いや自社の経営理念・ビジョンの構築を通して、目指すべき経営者像を考えるとともに、経営者マインドを醸成します。
	能力開発	経営トップに求められる戦略的思考や的確な意思決定能力、自社を取り巻く様々な関係者との良好な関係構築のための対人力、自分の考えを明確に表現・伝達するためのプレゼンテーション能力等の向上を行います。
	ゼミナール	経営戦略、財務、人的資源管理のいずれかのテーマに基づいたグループ研究とともに、研修で習得した各分野の知識・手法を駆使して取り組む、自社の経営データに基づいた分析のフォローを少人数制のゼミナール形式で行い、自社のあるべき姿を実現するためのアクション・プランの策定まで、きめ細かな個別指導を受けられます。
	経営基礎	中小企業が置かれている経営環境についての正確な認識と、付加価値を生み出す企業活動の仕組を理解することで、「企業経営」の全体像を掴んでいただきます。
	経営戦略	企業経営における経営戦略の重要性を理解し、体系的な戦略フレームワークと戦略策定のプロセスを演習などを多用して実践的に学びます。また、自社の経営資源を最大限に活かした第二創業の検討にもチャレンジしていただきます。
	マーケティング	企業経営・経営戦略とマーケティングの関連性の理解と、様々なマーケティング戦略策定までのアプローチを演習などを通じて実践的に学ぶとともに、自社における効果的なマーケティング展開について考えていただきます。
	財務管理	企業会計の基礎から財務諸表の示す数字の意味と対策について、ワークショップ形式（参画型演習）を導入した研修手法を活用してじっくりと学んでいただきます。また、自社の決算書などの分析から経営基盤の把握と利益計画等の将来予測を的確に行えることを目指します。
	人的資源管理	近年の「個」と「組織」との雇用関係の変化について認識いただき、「人」の本来的な資源性に着目した人的資源管理の本質的展開方法を実務ベースで習得していただきます。また、自社のあるべき姿に沿った人的資源管理の展開について考えていただきます。
	情報化・国際化	経営環境の変化に積極的に対応していくための手段として、企業情報化、国際展開を効果的に進めていくポイントを学んでいただきます。
	経営法務	企業を取り巻く法的環境、事業承継など経営トップとして知っておくべき法務の知識と実務を学んでいただきます。

カリキュラムの編成

経営戦略
・企業経営と経営戦略
・経営戦略概論
・戦略策定プロセス
・経営革新と第二創業

マーケティング
・企業戦略とマーケティング
・マーケティング概論
・マーケティングリサーチと戦略
・販売分析手法

財務管理
・財務と企業経営の関連性
・決算書の仕組みの理解
・資金管理手法
・設備投資採算計算、利益計画策定手法

人的資源管理
・人材マネジメント戦略と組織活性化
・人事制度設計手法
・目標管理と賞金体系
・労働時間と雇用管理
・人的資源管理を取り巻く法環境

情報化・国際化
・企業経営と情報技術
・企業情報化の導入手法
・経営環境のグローバル化が与える影響
・効果的な国際展開モデル

経営法務
・ビジネスと法律の関連性
・契約、取引関連法務（民法）
・手形・小切手法、商法
・財産管理と法律
・コンプライアンス経営と企業の社会的責任
・事業承継に必要な税知識

テクニカルスキル

●経営オペレーションのための知識・技法

経営基礎
・経営者のビジネスマナー体得
・中小企業を取り巻く経営環境の理解
・経営学の概要
・経営シミュレーションゲーム
・生産機能と流通機能

コンセプチュアルスキル
●組織全体を見ながら各機能や関連を見抜く能力

ヒューマンスキル
●人に働きかけ、組織をまとめていく能力

能力開発
・経営トップのビジネスマナー
・経営トップのリーダーシップ
・論理的思考による問題解決
・交渉力、意思決定力
・コーチング
・ロジカルプレゼンテーション
・傾聴・アサーション
・リスクマネジメント

